

「JALスカラシッププログラム」の経緯と実績

1.発足に至る経緯

1970 年代初め、高度経済成長期の日本に対する批判がアジア各地で高まり、日本製品排斥運動や日本批判の嵐が吹き荒れていた。その中で、田中角栄元首相が 1974 年に JAL 特別便でアセアン諸国を訪問した際、タイやインドネシアで学生を中心とする反日デモに遭遇した。これを知った当時の JAL 社長(朝田静夫)は、JAL が乗り入れているこの地域の若者に実際の日本の姿を見てもらえば相互理解を促進することができると考え、日本とアジアの友好のために、1975 年「JAL スカラシッププログラム」を発足させた。その後 2 度にわたるオイルショックなど、厳しい経営状況の時期もあったが、毎年継続してきた。

2.発足後昨年までの実施年度と対象国・地域および参加者数

1975 年より毎年 1 回実施し(但し、1976 年は春・夏 2 回実施)、2006 年に 33 回目を迎える。初年度は、香港・インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポールから 30 名を招待した。その後、順次対象とする国・地域を拡大していったが、1992 年から原点に戻り、アジア・オセania に絞ることとした。昨年までの総参加者数は 1,250 名にのぼる。

【2005 年までの国・地域別参加者数、及び 2006 年度参加予定者数】

参加対象国・地域	参加期間	参加者数 (累計)	2006 年度参加 予定者数
香港	'75-'97	106 名	—
フィリピン	'75~	134 名	3 名
シンガポール	'75~	135 名	3 名
マレーシア	'75~	134 名	3 名
インドネシア	'75~	135 名	3 名
タイ	'76~	131 名	3 名
米国	'77-'91	63 名	—
ブラジル	'80-'90	24 名	—
韓国	'81~	97 名	4 名
オーストラリア	'83~	63 名	3 名
ニュージーランド	'83~	39 名	2 名
中国	'85~	100 名	6 名
台湾	'91~	49 名	3 名
ベトナム	'92~	40 名	3 名
総計		1,250 名	36 名

注)香港からの参加者は、98 年から中国へ計上

以上